

2021年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:法哲学)

2020年9月12日(土)

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

次の【問1】、【問2】とも解答しなさい。解答の最初に問題番号を明記すること。

【問1】

近代自然法論について詳しく説明し、それが現代日本法にどのような影響を与えていたか論じなさい。

【問2】

法的権利の性質について、法哲学や法理論におけるこれまでの議論の蓄積を踏まえながら論じなさい。

2021年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:憲法)

2020年9月12日(土)

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

以下の3問の中から2問を選んで論述しなさい。

- (1) 「ヘイト・スピーチ」(憎悪表現)への規制について
- (2) 司法消極主義と司法積極主義について
- (3) 権力分立について

得点

2021年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:税法)

(法学研究科)

2020年9月12日(土)

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

次の問題1・問題2とも解答せよ。

【問 題1】

法人の課税所得計算における、いわゆる「確定決算主義」について検討しなさい。

【問 題2】

甲(父)の死亡により、相続人である長男X他4人の相続人の間で遺産分割協議が難航した。そのため、長男Xは代理人である弁護士に依頼し、翌年遺産分割協議が成立した。その遺産分割によりX名義となった不動産を、同年にXが第三者へ譲渡した場合、弁護士に支払った遺産分割に係る弁護士費用は、譲渡所得の金額の計算上、取得費又は譲渡費用に該当するか否か、関連する判例に言及した上検討しなさい。

2021年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(法学研究科)

(科目名:中東政治論)

2020年9月12日(土)

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

以下の問い合わせから2問を選択し、解答せよ。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

- (1) 石油収入の増大が、民主化を抑制する現象について説明せよ。
- (2) 石油の存在が、内戦を引き起こす効果について説明せよ。
- (3) 2011年の「アラブの春」について政治学の視点から論じなさい。
- (4) 過去および現在に中東で発生した地域紛争について、一つを取りあげてその概要を示し、それが国際政治に与えた影響を論じなさい。

得点